

## 5 各教科等における実践例について

### (1) 実践例を作成するにあたっての留意事項

- ・学習指導要領に対応して、三つの資質・能力のいずれかを育てる実践例としました。
- ・三つの資質・能力と食育の六つの視点との対応については、15ページの【食に関する指導の目標（食育の視点が含まれている）】をもとに、実践例を示しました。
- ・小学校、中学校だけでなく、特別支援学級や特別支援学校の指導案も作成しました。

三つの資質・能力	食育の六つの視点	実践例
知識・技能	食事の重要性	小学校第2学年生活科 特別支援学校高等部教育課程B家庭科
	食文化	中学校第2学年技術・家庭科
思考力・判断力・表現力等	食品を選択する能力	小学校特別支援学級第3学年学級活動
	心身の健康	小学校第6学年体育科 中学校第1学年保健体育科
学びに向かう力・人間性等	感謝の心	小学校第5学年学級活動
	社会性	中学校第3学年学級活動

- ・望ましい食習慣を身に付けるため、できる限り食生活の改善を意識した指導案としました。
  - ・できる限りICTを取り入れた指導案となるようにしました。
  - ・給食の時間の指導と組み合わせた指導案としました。
  - ・略語として、「知識・技能」については、「知・技」、「思考力・判断力・表現力等」については、「思・判・表」、「学びに向かう力・人間性等」については、「学向・人間性」としました。
- また、「学びに向かう力・人間性等」の評価である「主体的に学習に取り組む態度」については、「主体的学習態度」としました。

### (2) 学習指導案の作成ルール

学習指導案は、以下のように「育てたい三つの資質・能力」や「本時に関連する食に関する指導の学習計画」「教科等との関連」を明記するなど、さまざまな工夫を加えました。

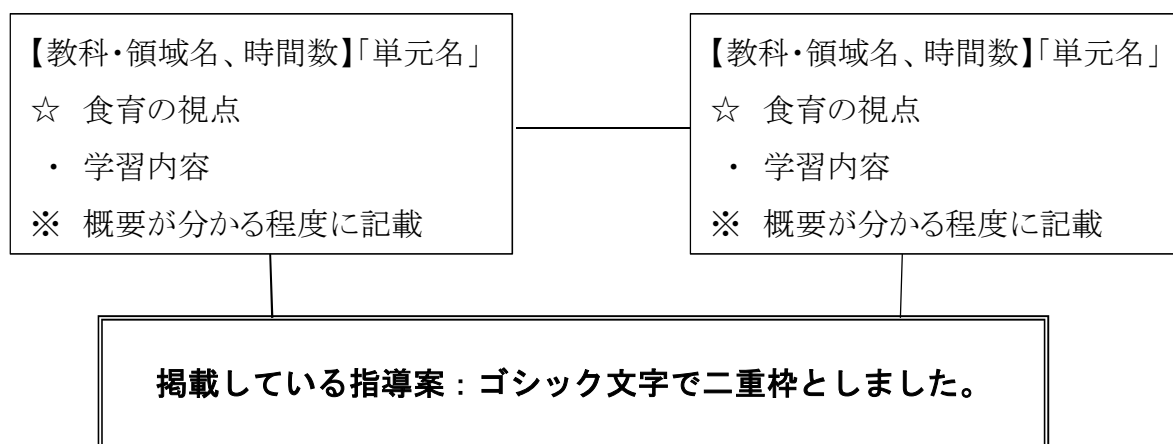
育てたい三つの資質・能力を高める実践例

校種 学年 教科・領域名

● 単元名 題材名

- 本時の目標
- 食育の視点
- 本時に関連する食に関する指導の学習計画(全時間数)

本時の指導と関連した教科の指導等を「本時に関連する食に関する指導の学習計画」の中で明記するようにしました。



- 教科等との関連：本時の指導と関連している他学年の学習内容を示しました。
- 本時の展開：授業は担任と栄養教諭等が連携して指導に当たることを前提に、T形式で示しました。
- 資料：指導案で活用しているワークシートや資料等を添付しました。また、ワークシートには、答えがあれば赤で示しました。
- 給食の時間の指導：本時の展開と組み合わせて、より効果的な指導を行うために、事前か事後かに関連した指導を行うことにしました。

### (3) 各教科における実践例の概要

#### ① 知識・技能を高める実践例

ア 小学校 第2学年 生活科 (食事の重要性)

「大きくそだてわたしの野さい」

野菜の種類、よさを理解するために、給食で食べている野菜をクイズ形式で確認したり、夏野菜のよさを野菜の働きカードを使って学んだりします。そして、自分が育てる野菜を決めていきます。

イ 特別支援学校 高等部教育課程B 家庭科 (食事の重要性)

「必要な栄養素を満たす食事」

緑黄色野菜1日分の摂取量の目安100gを手ばかりで何度も確認する作業を通して、普段の生活の中で手ばかりが使えるように促します。

ウ 中学校 第2学年 技術・家庭科 (食文化)

「地域の食文化」

家庭で食べられる行事食や郷土料理を調べ、そのよさを理解します。そしてその知識を基に行事食や郷土料理を広め、伝える方法を考えます。

② 思考力・判断力・表現力等をも高める実践例

ア 小学校 特別支援学級 第3学年 学級活動 (食品を選択する能力)

「げんきにおおきくなるたべかたをかんがえよう」

絵本「はらぺこあおむし」(エリック・カール作)を使い、青虫が何でも食べて大きくなり美しい蝶になったように、人間も好き嫌いなく食べることが大切であることを学び、毎日の給食の食べ方に活かします。

イ 小学校 第6学年 体育科 (心身の健康)

「病気の予防について考えよう」

生活習慣病と関係が深いとされるS (s a l t) O (o i l) S (s u g a r) について、普段の食生活でどんなことに気を付けるのかグループで考えます。それを基に自分の生活を見直します。

ウ 中学校 第1学年 保健体育科 (心身の健康)

「健康な生活と病気の予防」

食事バランスガイドを使い、自分の食事の栄養素と量のバランスを調べます。それを基に、健康を維持するため、自分の食生活の課題を見つけ、改善策を考えます。

③ 学びに向かう力・人間性等をも高める実践例

ア 小学校 第5学年 学級活動 (感謝の心)

「食べ物を大切にしよう」

食品ロスが発生している現状を把握し、食品ロスを減らすために家庭でできることや学校でできることを話し合います。そして自分が取り組めることを考え、今後の生活での実践につなげます。

イ 中学校 第3学年 学級活動 (社会性)

「どうすれば、みんなに優しい食生活ができるだろう」

世界の国々の食糧分配状況は、飽食と飢餓が混在している現状であることを知り、飽食の中で暮らす我々は、自分の生活の中で何ができるか考え、実践につなげます。